



沖縄県 (株)萌す

『県産魚の輸出からクルーズ船対応まで幅広く』

【主な品目】

沖縄県産魚(ミーバイ等)、青果、卵等

【主な輸出先国・地域等】

香港、シンガポール、ブルネイ、
沖縄寄港外国籍クルーズ船

【輸出取組の概要】

- ◆ (県産魚事業: 🇵🇸) 2015年に観光分野から水産物販売に参入、現在は香港等のスーパー等向けにミーバイ等の沖縄県産天然魚を輸出
- ◆ (クルーズ船事業: 🚢) 2024年から外国籍クルーズ船に県産食材等の供給を開始、短いリードタイムの大ロットの注文に対し、小回りよく臨機応変に対応

【県産品の輸出実績】

		沖縄県産鮮魚	クルーズ船向け 沖縄県産品
2024 年	輸出額	950万円	500万円
	輸出量	6トン	7トン
2023 年	輸出額	1,400万円	
	輸出量	9トン	



【取組の際に生じた課題等】

- (🇵🇸) 東南アジアには沖縄県産魚と同種の魚が多く競合
- (🇵🇸) 沖縄県産魚の水揚げ量や価格が一定でないため、定量出荷が困難
- (🚢) 大ロットかつ短いリードタイムでの商談から納品までの対応が求められる

【生じた課題への対応】

- (🇵🇸) 同魚種が多いことを逆に漁場の優位性(東南アジアから北に位置し脂のりをPR)及び日本の品質をセールスポイントに高付加価値の同魚種の営業をアップマス層以上の現地店舗に展開
- (🚢) クルーズ船の需要に対して、沖縄県内で提供できる数量等を確認し、提案、供給をすることとした
- (🚢) 県内倉庫など商流の効率化を図り、短い期間での商品の供給ができる体制を整え、さらに構築中

【対応の結果】

- (🇵🇸) 沖縄県産魚の脂乗り・品質の良さを評価され、価格設定に理解が得られ取引成立
- (🇵🇸) 「本日のおすすめメニュー」等により、水揚げに応じた柔軟な取引が可能になった
- (🚢) クルーズ船側及び事業者側と密に連携を図り、臨機応変に供給を進めている

【今後の展望】

- (🇵🇸) 現地顧客の要望により、県内外問わず、水産物はもとより、その他の食料品を中心に輸出商品を拡大
- (🇵🇸) さらに生産者とのつながりを広げ、需要のある北米等の輸出先国を拡大し、高付加価値の商品を展開
- (🚢) 沖縄県はクルーズ船の発着港として、今後も増加が見込めることから、輸出拡大の好機と捉える
- (🚢) クルーズ船の需要に応えるべく、商品種類、数量を迅速かつ安定的に供給体制の構築を強化する